

携帯電話の計画的な利用

楽しいだけではダメ！携帯電話の使い過ぎに注意！



近ごろの携帯電話では、会話やメール以外にも、音楽、映像、インターネット、ゲーム、カメラ、買い物等いろいろな機能やサービスを利用することができます。しかし、よく考えずに使っていると、いつの間にか大変な請求金額になってしまうことがあります。

お金がかかるのか・・・でも登録しておこう！

通信料がかかるのか・・・でもちょっとだけやってみよう！

え！なんでこんなに高いの？！登録したサイトの利用料が高いし、通信料も・・・

♪ **新曲情報** ♪
月額 **300円** で利用できます。

下記の利用規約を確認して、登録して下さい。・・・
[利用規約](#)
[登録](#)

請求書

基本料	2,500 円
通話料	2,000 円
有料コンテンツ使用料	5,500 円
通信料	12,000 円
合計	22,000 円

ポイント

1 携帯電話は自分の責任で使う

今月の利用料金は「基本料が〇〇円、[パケット代](#)が□□円で、通話が△△円」。このように使用状況がきちんと言えますか。「言えない」という人は確認してみてください。携帯電話を使えば、当然お金はかかります。**毎月の利用料金を把握し、自分の責任でしっかり管理しましょう。**一つ一つのコンテンツの利用料金は、たいしたことがないと思ってどんどん利用していると、請求書が来たとき真っ青になるということもあります。よく考えて利用しましょう。

2 どんな場合に料金がかかるのか

電話をすれば通話料、インターネットを利用すればパケット代（通信料）がかかります。パケット代は時間ではなくデータの大きさに応じて課金されます。さらに、有料サイトを利用すると情報料がかかります。

携帯電話向けに、音楽に待受画面、[ゲーム](#)に占いと便利で楽しいサイトが提供されます。それらの多くは有料であり、申し込みば、毎月定額の情報料がかかることになります。有料サイトに申し込む時は、本当に必要なか、通信料も含め支払いに無理がないかなど考えてから決めましょう。なお、大量に通信する人向けに、月々の通信料が定額で使い放題になるサービスもあります。

3 使い過ぎを防ぐには

利用のための「登録手続き」は、情報提供者に対する「契約の申し込み」になります。契約には義務や責任が伴い、「知らなかった」では済まされなくなります。携帯サイトの利用規約をよく読み、次のようなことを考えてから利用しましょう。

1. 自分にとって本当に必要なか。（不要になったサービスは[解約する](#)。）
2. 料金の支払い計画は無理のないものか。（月々いくらまでというルールを決める。）
3. いくつも料金体系がある時は、自分の利用状況にふさわしいものを選ぶ。

携帯電話の計画的な利用

<用語解説>

● パケット代（パケット通信費）

データ通信時、送受信するデータを小さな単位(パケット)に分割し、これを一つ一つ送受信する通信方法をパケット通信という。携帯電話の接続サービスも、ほとんどがパケット通信に移行しており、送受信したデータの量に応じて課金する。この場合、通常の音声通話と異なり、回線を接続したままの状態でもデータを送受信していない限りは課金されない。

● ゲーム（ネットゲーム）

ネットワークを介して、複数の人と一緒にゲームを楽しむことができる。ゲームを有利に進めるための武器等のアイテムを現金で購入することが可能な場合があるため、利用者は多額の出費をしてしまわないように注意する必要がある。また、対戦相手とチャットができるオンラインゲームもある。

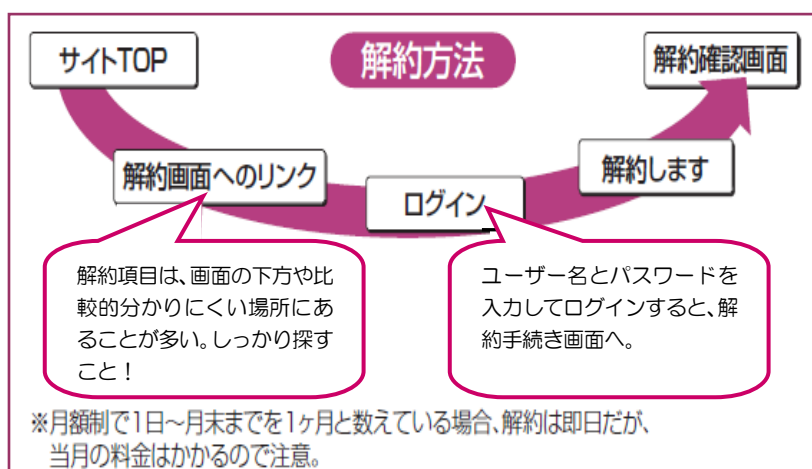
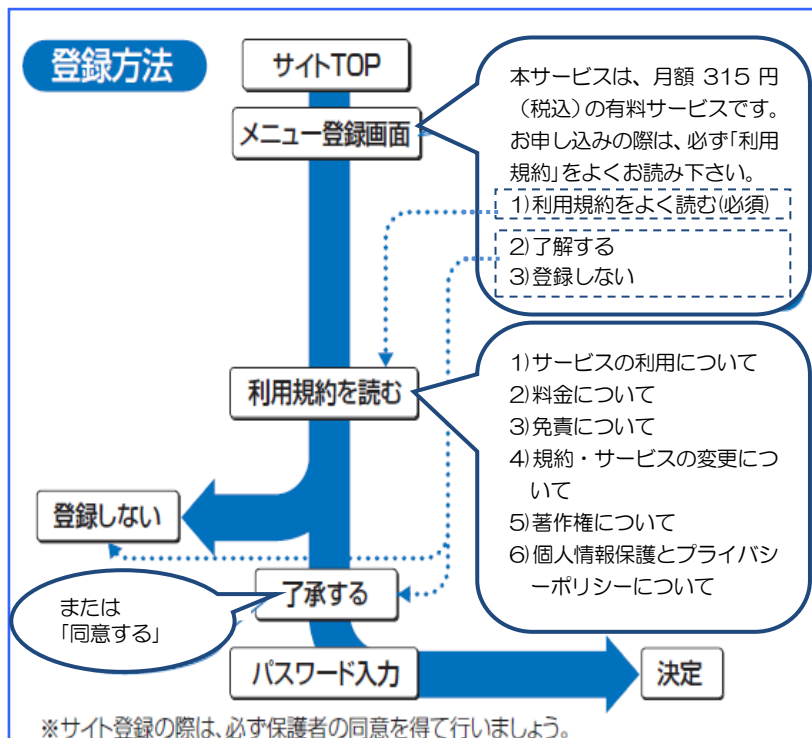
● チャット

ネットワーク上でリアルタイムに文字だけの会話を行うシステムのこと。同じ時間に離れた場所の人と文字ベースで会話することができる。

● 依存症

ネットゲーム依存症になる人もいる。高校生の場合は、学校を欠席し外出せず、睡眠もほとんど取らずにプレイする人も存在する。韓国では2005年8月にネットカフェで連続50時間ネットゲームをプレイして死亡するという事件も起きており、アジア諸国では社会問題となり、タイや中国では法律によりプレイ時間が規制されている。

● コンテンツの登録・解約の方法



（モバイル社会研究所「みんなのケータイ」より）

<参照>

- モバイル社会研究所「みんなのケータイ」http://www.moba-ken.jp/activity/report/data/minnano_keitai_1.pdf
- モバイル社会研究所「みんなのケータイ 2」http://www.moba-ken.jp/activity/report/data/minnano_keitai_2.pdf
- 財団法人コンピュータ教育開発センター（CEC）「ネット社会の歩き方」<http://www.cec.or.jp/net-walk/>